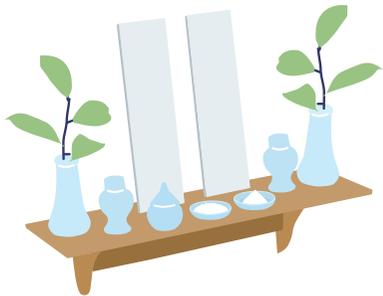


暮らしの中の神棚

「お神札を家庭に」



人生の節目には、神社でご祈禱を。



神社本庁

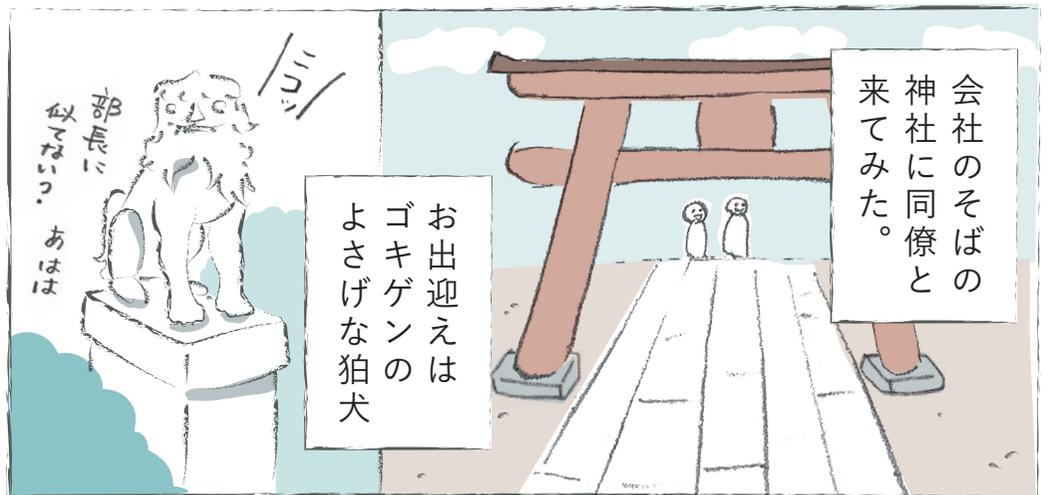
(<https://www.jinjahoncho.or.jp>)

神棚の詳しいまつりなどは
神社本庁HPをご覧ください。

会社のそばの
神社に同僚と
来てみた。

お出迎えは
ゴキゲンの
よさげな狛犬

部長は
おはは
あはは



やめますように

彼が
できますように

思い思いに
お参りしたら…



おみくじひこー

わあ、いろんな
お守りがあるんだあ

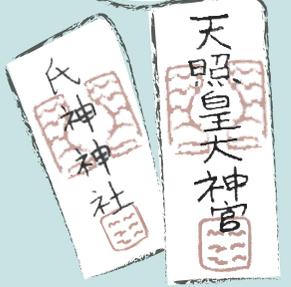


ところで
お守りの隣の
この紙は

なんだろう？



こちらは、
家の中の
神棚で
おまつりする
おまづりです
お神札です



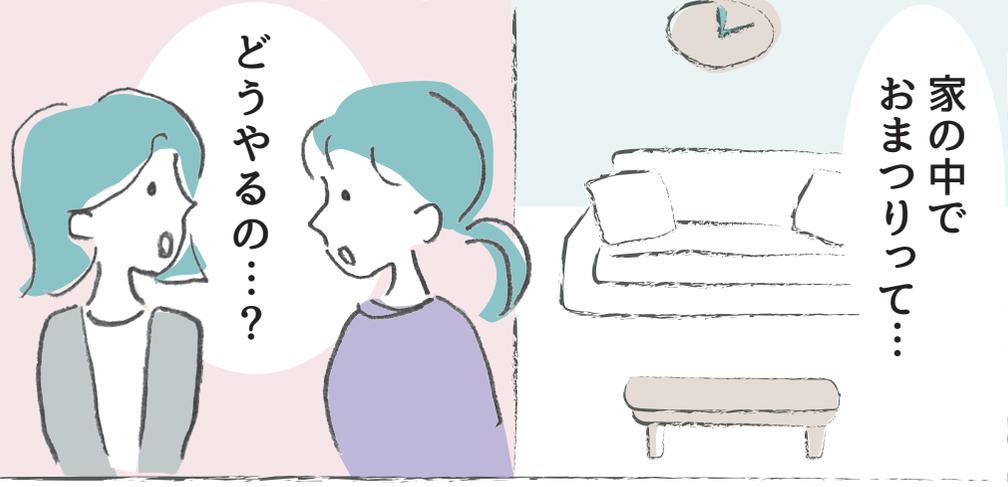
お神札…？

神棚…



家の中で
おまつりって…

どうやるの…？



神棚

「かみだな」

神棚は家庭におまつりする
神さまのお社やしろ

神棚とは、家の中で神さまをおまつりする場所のことです。また、神棚に据えられる、神社の建物をかたどったものを「宮形みやがた」といいます。

神棚は、三社・一社造りの宮形の中にお神札を納めておまつりするものが伝統的な形式ですが、現代の生活様式に合わせてデザインされた、宮形を用いない「モダン神棚」や、少ないスペースでもおまつりできる卓上型の神棚やお神札立てなどもあります。

美しい日本の伝統

三社・一社神棚

古くから親しまれてきた宮形の神棚です。



三社造り宮形



一社造り宮形



いまの暮らしに モダン神棚

現代のインテリアに馴染む
シンプルなデザインの神棚です。

ちょっとした場所に お神札立て

お神札や祈願札を
卓上で気軽ににおまつりできます。



お神札

「おふだ」

お神札は神さまが宿っているみしるし

お神札の種類

◆神宮大麻

天照大御神さまを御祭神とする「天照皇大神宮」の神号を謹書した伊勢の神宮のお神札です。

氏神さまを通じて神職等により各家庭に頒布されることもあり、各神社の授与所でも頒布されています。日本の「総氏神さま」である天照大御神さまの御加護により、日本全国の家庭をお守りいただいております。



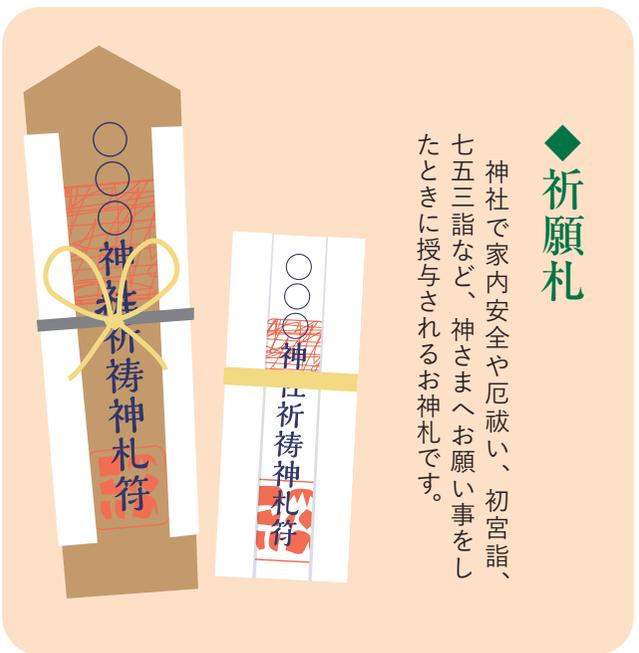
◆神社のお神札

お住まいの地域の守り神（氏神さま）である神社を「氏神社」、地域に限らず好きな神社や特に信仰する神社を「崇敬神社」といいます。崇敬神社はいくつあっても大丈夫です。



◆祈願札

神社で家内安全や厄祓い、初宮詣、七五三詣など、神さまへお願い事をしたときに授与されるお神札です。



かまどの神さま

◆三宝荒神のお神札

荒神は竈神とも呼ばれ、主に台所を中心とした家の中の火を扱う場所におまつりする神さまのお神札です。



神棚の由来

古事記(上巻)では、神棚の由来について次のように記されています。

『伊邪那岐命、大く歎喜びて詔りたまひしく、「吾は子を生み生みて、生みの終に三はしらの貴き子を得つ。」とのりたまひて、即ち御頸珠の玉の緒母由良邇に取り由良迦志て、天照大御神に賜いて詔りたまひしく、「汝命は、高天原を知らせ。」と事依きして賜ひき。故、其の御頸珠の名を、御倉板拳之神(板拳を訓みてタナと云ふ。)と訓ふ。』

《解説》

天照大御神が、お父様である伊邪那岐命から授かった神聖な宝物(御頸珠)を神さまとして崇め、板を設置しその上におまつりしたのが、神棚のはじまりと言われています。



◆お供えの仕方

神棚にお供えする神さまのお食事を「神饌^{しんせん}」といいますが。お供えする物は、米・塩・水を基本として、お酒などもお供えします。季節の初物や頂いたお菓子などをお供えしてもいいでしょう。
毎朝お参りする前に新しい物に取り替えて、新鮮な物をお供えしましょう。お供えた物は、お下がりとして家庭でありがたくいただきます。

●神饌の並べ方

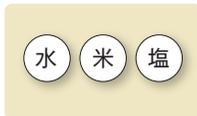
図のように米を中央とし、次に酒、塩、水をお供えします。

神前



5点の場合

神前



3点の場合

【米】

生米や洗米をお供えします。神さまのお供え物の中でも、米は最も重要なものとして扱われています。

【塩】

粗塩を円錐状に高く盛り上げた盛り塩にしてお供えします。ある程度の山の形に整えるといいでしょう。

【水】

朝一番の汲みたての水をお供えします。水器に注ぎ、お供えするときは、蓋を外します。

【酒】（お神酒）

米から作られている日本酒をお供えします。一対になっている瓶子に注ぎお供えします。米が元になっていることから、神さまとのつながりが強いお供え物です。

【榊】

榊は常に緑を保つ常緑樹で古くから御神前へのお供えに使われます。神棚の両側にお供えします。榊は生花店などで販売されています。毎日水を取り替えてみずみずしさを保ちましょう。

【かがり火】

御神前を明るくするものです。灯明台や灯籠型もあります。

【真榊・五色布】

陰陽五行説に基づく五色の布のことで、宇宙の道理を表現しており、神威を発揚するものです。

【脚付き折敷】

神饌やお供え物を乗せる台のことです。継ぎ目が手前に見えるように置きます。

※神具は一例です。できる範囲で揃えると良いでしょう。

◆お神札のまつり方

神棚には、神宮大麻（伊勢の神宮のお神札）を中心に、氏神社、崇敬神社の三体のお神札をおまつりするのが基本です。
 三社造りの宮形には、中央に神宮大麻、向かって右に氏神社、左に崇敬神社の順にお神札を並べて、宮形の中に納めます。
 一社造りの宮形には、手前から神宮大麻、氏神社、崇敬神社の順にお神札を重ねて、宮形の中に納めます。



右
氏神社
お住まいの地域の
神社のお神札。



中央
神宮大麻
伊勢の神宮のお神札。



左
崇敬神社
お好きな神社のお神札。
複数ある場合は重ね
ましょう。



並べてまつる三社造り



1 神宮大麻
伊勢の神宮のお神札。
2 氏神社
お住まいの地域の
神社のお神札。
3 崇敬神社
お好きな神社のお神札。
複数ある場合は重ね
ましょう。

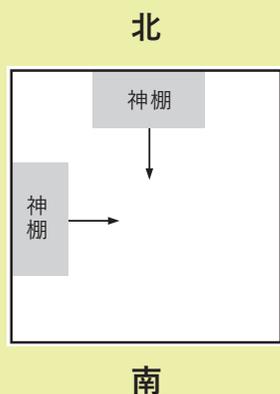


重ねてまつる一社造り

●神棚を設置する場所

神棚は家の中で家族が親しめる明るく綺麗な部屋に設けましょう。設置する場所は、天井近く目線より高い位置で、お神札の正面が南向きまたは東向きにおまつりしましょう。住宅の中で、このような場所が見当たらない場合は、家族が親しみを込めて毎日お参りできる場所を第一に考えると良いでしょう。

神棚を設ける際は、神棚と設置場所をお祓いするとより丁寧です。お近くの氏神社にお問合せください。

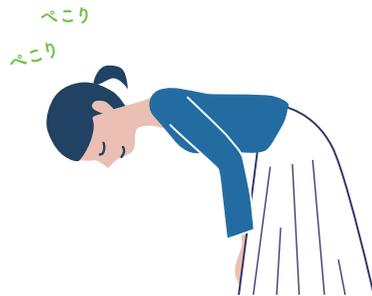


神棚・神具は『BOOKS 鎮守の杜』HPにて取り扱っております。詳細はトップページ左側一番下の「神棚」をご確認ください。
<https://books.jinja.co.jp>



◆お参りの仕方

神棚に拝する前に、手や口を清めましょう。神棚に拝する作法は神社での参拝と同様に、『二拝二拍手一拝』が基本です。



一拝
最後にもう一度
頭を深く下げます。

二拍手

右手を少し下にずらして
両手を合わせ、二度手を
打ちます。
そのまま両手を揃えて祈
ります。

二拝

姿勢を正し、頭を二度
深く下げます。

より丁寧にお参りするには

右頁『お参りの仕方』の前に、二拝して『神棚拝詞』を
読み上げましょう。

神棚拝詞

此の神床に坐す 掛けまくも畏き
天照大御神・産土大神等の大前を拝
み奉りて 恐み恐みも白さく 大神等
の広き厚き御恵を辱み奉り 高き尊
き神教の随に直き正しき真心もちて
誠の道に違ふことなく 負い持つ業
に励ましめ給い 家門高く 身健や
かに 世のため人のために 尽くさし
め給えと 恐み恐みも白す

なぜ神宮大麻を真ん中におまつりするのかわ

伊勢の神宮の御祭神である天照大御神さまは、八百万の神さまの中で、最も尊い神さまとされ、天皇陛下・皇室の御祖神です。氏神さまが地域の守り神であるように、天照大御神さまは日本人の総氏神さま、そして守り神としての信仰があります。そのため、お神札を神棚におまつりするときは、天照大御神さまをおまつりしている神宮大麻を神棚の真ん中や、一番前になるようにおまつりします。

COLUMN



「神棚拝詞の意識」

この神棚に仰ぎまつる、申し上げることも恐れ多い天照大御神、この土地にお鎮まりになっている産土大神の御前を拝して謹んで申し上げます。神々の広く厚い御恵をもったいたいなく思い、高く尊い神の教えのとおり、素直で正しい真心によって人の道を踏み外すことなく、従事する勤めに励むことができず様に、家が栄え、家族も健康で世のため、人のために尽くさせてくださいと、恐れ多くも申し上げます。



神棚拝詞や略拝詞などが書かれた『神棚拝詞』を無料でお送りします。

お申込み・お問い合わせは

<https://www.jinjahoncho.or.jp/shinpaishi>



Q お神札は、ずっとおまつり
 していてもいいのですか？

A 年末の大掃除では神棚もきれいにし、
 新しいお神札をおまつりします。新しいお
 神札をおまつりすることによって、神さま
 の御加護をいただき、迎えた新しい年も無
 事に過ごせることをお祈りします。今まで
 おまつりしていた古いお神札は、一年間お
 守りいただいた事に感謝して、神社にお札
 参りをしてお返しします。



古神札はお焚き上げされます。

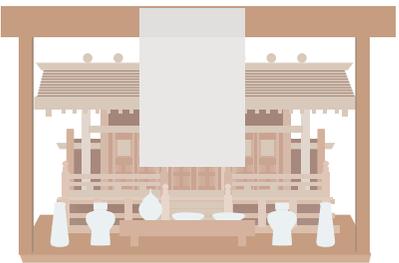
Q お神札とお守りの
 違いって何ですか？

A お神札は、家や会社の神棚におまつり
 し、一家や会社の安泰を願ってお参りをす
 ることで、神さまにお守りいただきます。
 一方、お守りは個人が常に身に着けるこ
 とで、交通安全や学業成就といった様々
 な種類のご加護を受けられます。
 また、お神札やお守りは「買う」もの
 ではなく、信仰の証として「受ける・授
 かる」ものです。



Q 身内に不幸がありま
 した。神棚はそのまま
 でいいのでしょうか？

A 故人の御弔いに専念するため
 に、普段の神棚のおまつりは
 いったん止めて、神棚の前に半
 紙を貼ります。期間は、地域に
 よって異なりますが、一般的に
 五十日が過ぎたら忌明けとし、
 神棚のおまつりを再開します。



Q お神札の薄紙は、
 そのままでいいの
 でしょうか？

A お神札を包装している薄紙は、
 家庭や会社でおまつりされるま
 でに汚れが付かないようにする
 ために貼られています。神棚やお
 神札立てに納める直前に薄紙を
 取っておまつりしましょう。



Q 神棚の上の「雲」は、
 何を意味しますか？

A 二階建ての家の一階に神棚を
 設けた場合、尊い神さまをおま
 つりした神棚の上を、階上の人
 がやむを得ず踏む場合があります。
 しかし、神さまに畏れ多い
 ということから、「雲」や「天」
 と書いた紙を貼って、神棚より
 上は雲上であって、他には何も
 ないことを意味します。

